4.10 CADデータ連携

4.10.1 住宅設計CADのデータ連携について

STRDESIGNは、数社の住宅設計CADシステムからデータの取り込みが可能となっております。

(1) STRDESIGN の連携データが作成できる CAD システム

- SUNCAD V4.0L01
- ・ 建築 Vision 2 Ver2.0
- MADRIC CG2000 Ver16.0
- Super Soft V7.0
- ・ ザ・プランナー
- DBS CAD

※CADデータ連携の最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。

連携データの使用方法は「4.10.2 連携データの読み込み」を参照ください。 STRDESIGNの連携データ作成方法については各 CAD メーカー様にお問い合わせください。また、 プレカット CAD とのデータ連携については弊社ホームページを参照ください。

(2) データを STRDESIGN 用に変換できる CAD システム

ARCHI TREND 21

連携データの作成方法は「4.10.3 アーキトレンドデータの変換方法」を参照ください。

4.10.2 連携データの読み込み

(1)事前準備(テンプレートの作成と適用)

CAD 連携データは基本的に仕様情報(材料や荷重など)を含んでおりませんので、STRDESIGN にて連携データを読込む際に、自動で仕様情報が追加されます。

通常、連携データを STRDESIGN で読込むと、STRDESIGN の標準仕様情報(テンプレート)が追加されます。 事前に設計者固有の仕様情報を準備しておくと、連携データにその仕様を採用することができます。 ※STRDESIGN の標準テンプレートを使用される場合は、本手順は必要ありません。



※上図の名称は例です。

N 無題 - Modeler						
ファイル(<u>F</u>)	編集(E)	入力制御邸	表示(⊻)	ツール①	^ルフ°(<u>H</u>)	
新規作り 開く(Q)… 再読みう 閉じる(Q	或(<u>N</u>) 込み(L) 2)			Otrl Otrl	нN HO	
上書さけ 名前を作 テンフプレー 部材テン	*14 ら) すけて保存(トとして保存 プレートデータ	Ă) ≝(Ŋ /保存(B)		Utri		
インホ [®] ート エクスホ [®] ー 追加イン	ℚ ŀ(⊑) ホ°−ŀ(<u>D</u>)					

- テンプレートを準備します。テンプレートの作成 方法は「4.2.2 テンプレート」を参照ください。
- ② STRDESIGN の「開く」ボタンをクリックし、準備し たテンプレートを開きます。(新規作成では開か ないでください。)
 通常、テンプレートは以下の場所にあります。
 C:¥Program Files¥STRBASE V13
 ¥Modeler¥Template¥
- 「ファイル」メニューから「エクスポート」を選択します。



🥱 新しく設定したV13用テンブレート.mld - Modeler					
ファイル(E) 編集(E) 入力制御邸 表示(⊻)	ッール(工) ヘルフ°(土)				
	作画ペン設定(P)				
新規開く保存。印刷 前除 僕牙 古	. オフジョン(<u>Q</u>)				
全表示	構造計算書-印刷位置調整(R)				
	キー情報の変更(近)				

オブションの設定	×
基本 補助線 ブロパティ色 データ連携情報 自動バックアップ	
追加用CSVファイル:	
iles¥STRBASE V13¥Modeler¥Template¥在来工法(M910)テンプレートV13.csv	
デウォルト 参照	
	_





 ④「名前を付けて保存」画面において、「保存」ボ タンをクリックします。(必要に応じてファイル名 称を変更してください。)

- 続いて、「ツール」メニューから「オプション」を選 択します。
- ⑥ データ連携情報タブを参照し、「参照」ボタンを クリックします。

「ファイル参照」画面において、④で保存したテンプレートの csv ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

 「オプションの設定」画面において「追加用 CSV ファイル」の欄が、新しいテンプレート名称に変 更されたことを確認し、そのまま「OK」ボタンをク リックします。

これで事前準備が完了です。

(2)連携データの読込みと修正

連携データはインポートすると、自動的に仕様情報が追加されて STRDESIGN に読込まれます。ただし、一部の部材については、仕様情報を手動で設定する必要がございます。

🙀 新しく設定したV13用テンプレート.mld - Modeler					
771N(E)	編集(E)	入力制御仰	表示(⊻)	ツール①	_^⊮7°(
新規作	式(<u>N</u>)			Ctrl	+N
開((_)				Ctrl	+0
再読み	込み(1)				- E
閉じる(@	2)				
上書き保存(S) Ctrl+S					+S
名前を行	すけて保存(<u>A</u>)			
音称材テンフ・レートデータ保存(B)					
ብን ポ ∽Ւወ					
エクスホペー	·卜(Ē)				
追加イン	ℼ°−Ւ(<u>D</u>)				

ファイルを開く			? 🗙
ファイルの場所の:	🚞 Data		
── [~] #\$MdlBackup 著]連携データcsv			
ファイル名(N):	連携データcsv		
ファイルの種類(工):	CSV ファイル (*.csv;*.txt)	 キャンセノ 	Ŀ





7*ロパ*ティ		×
建物概要		
項目	内容	
1階基準床高(mm)	72.00	
2階基準床高(mm)	30.00	
3階 <u>基準床高(mm)</u>	30.00	
屋根仕上げ(標準)	1003-彩色石綿板	
外壁仕上げ(標準)	1002 - サイディング張り	
多雪地域区分	0-→般	

① STRDESIGN を起動し、「ファイル」メニューから 「インポート」を選択します。

 「ファイルを開く」画面において、CAD システム で作成した連携データファイル選択し「開く」ボ タンをクリックします。

※連携データファイルの作成方法は、各CADメーカー様にお問い合わせください。

- ③ 自動的に仕様情報が追加されます。
- ④ 読込まれたデータが表示されます。
 屋根等が見にくい場合はレイヤの「入力順」を
 「深さ順」に変更してください。

⑤ 一部の部材の仕上げを仕様情報に合わせて変更します。
 まず、「基本情報」タブの「建物概要」をダブルクリックします。
 「屋根仕上げ(標準)」をクリックします。

コードの選択		×
屋根仕上げ(標準)		-
〇 1001 - 瓦(葺き土有)	屋根仕上げを選択	
C 1002 - 桟瓦 🛛 🥒		
• 1003 - 彩色石綿板		
○ 1004 - 金属板		
編集		

プロパティ 建物概要		×
項目	内容	
1階基準床高(mm)	72.00	
2階基準床高(mm)	30.00	
3階基準床高(mm)	30.00	
屋根仕 <u>上げ(標準</u>)	1003-彩色石綿板	
外壁仕上げ(標準)	▶002 - サイディング張り	
多雪地域区分	0-→般	

白 2 部屋・外壁・屋	根	右クリック	
	作成		
	編集		





- ⑥ 「コードの選択」画面にて「屋根仕上げ」を選択 し、OKボタンをクリックします。
- ⑦「外壁仕上げ(標準)」も同様にクリックし、設定 が完了したら「更新」ボタンをクリックします。

- ⑧ 次に「プラン」タブの「外周」を右クリックし、「編集」を選択します。
- ⑨「レコード編集画面」において「外壁仕上げタイプ」を選択します。

- ⑩ 選択が完了したらOKボタンをクリックします。
- ① ⑧~ ⑩と同様の操作を以下の部材についても行ってください。
 (下記の部材が連携データに存在しない場合は必要ございません。)
 ・屋根(「仕上げ」を変更)
 ・部屋(「部屋・収納種別コード」が空欄の場合)
 ・面材(「面材タイプ」が空欄の場合)
 ・筋かい(「筋かいタイプ」が空欄の場合)
 ・床組(「水平構面タイプ」を変更)
 - ・アンカーボルト(アンカーボルトタイプを変更)

② 以上で、連携データの読み込みは完了です。 マニュアル「3.1 入力内容」の「(2)部材データ」を参照し、耐力壁や上部構造、基礎などの構造計算に必要な部材データをさらに追加してから構造計算を実行します。

※連携される部材データの種類は、ご使用になられている CAD により異なります。詳細は弊社ホームページ を参照いただくか、各 CAD メーカー様にお問い合わせください。